

光復節祝辞（関係部分）

尊敬する国民の皆さん。

毎年、光復節が来るたびに、私たちは韓日関係を振り返らざるを得ません。韓日関係も今や二国間の関係を越えて、東北アジアの平和と繁栄のために共に協力する関係へと発展していかなければなりません。過去の歴史と歴史問題が韓日関係の未来志向的な発展の足かせとなり続けるのは望ましくありません。

政府は、新たな韓日関係の発展のためにシャトル外交を含む多様な交流を拡大します。当面する北朝鮮の核とミサイルの脅威に対する共同対応のためにも、両国間の協力を強化せざるを得ません。しかし、私たちが韓日関係の未来を重視するからと言っても、歴史問題に蓋をして素通りすることはできません。むしろ歴史問題をきちんと決着させた時に、両国間の信頼がより一層深まるでしょう。

この間、日本の多くの政治家と知識人が、両国間の過去と日本の責任を直視しようと努力してきました。その努力が韓日関係の未来志向的な発展に寄与してきました。このような歴史認識が日本の国内の政治状況によって変わらないようにしなければなりません。韓日関係の障害物は過去の歴史それ自体ではなく、歴史問題に対する日本政府の認識の浮き沈みにあるからです。

日本軍慰安婦と強制徴用などの韓日間の歴史問題の解決には、人類の普遍的価値と国民的合意に基づく被害者の名誉回復と補償、真相究明と再発防止の約束という国際社会の原則があります。わが国政府は、この原則を必ず守ります。日本の指導者の勇気ある姿勢が必要です。